

「いいだ ZOOn歌会」を立ち上げて

奥村晃作（高7回）

●おくむら・こうざく
飯田市出身。宮柊に師事。「コスマス短歌会」会員。代表作は「次々に走り過ぎ行く自動車の運転するみな前を向く」といった気付き・発見・認識の歌。毎朝のソイッター更新と散歩が日課である。



わたしは毎月1回、郷里の飯田市に帰り、実家に1泊し、超結社の「赤石短歌の会」（20名ほど）に参加して、歌の指導などおこなつてきた。およそ20年くらい経つであろうか。併せて、「コスマス短歌会」の支部歌会（10名ほど）にも参加してきたが、こちらは（体がきつくなり）10年ほど前に参加を取りやめた。

2019年の夏、肺炎で倒れて入院し、その後、路上で転倒して大怪我をした。更に老齢をも考えて、「赤石短歌の会」を10月の例会を最後に、以降は自然休会。このまま飯田の人達との繋がりは終わるのか、と寂しい想いを抱いていた。

明けて2020年、コロナウイルスの疫病が、パンデミックが始まった。そしてzoomによるオンラインのウェブ会議システムを利用したオンライン活動が、一気に、広く行われるようになった。それを見ていて、あついを感じていた。

方もある一方、老齢の方が多く、断念せざるを得ない人もあり、考えた結果、郵送による添削指導を合わせて行う事とし、全会員の方々の学びの場を再構築できた。

「コスマス短歌会」の支部歌会のメンバーはおおむね参加して下さった。更に声掛けして、定員20名で始めることにした。飯田下伊那がメインだが、上伊那、諏訪からも参加。更に縁あって東京、千葉、名古屋から参加する人も。飯田高校関係では、吉川進久（高7回）・中島道遙（高7回）・原伸樹（高32回）・下平紀代子（高32回）・辻元邦宏（高42回）の各氏等が参加されている。

2020年9月20日の午前中、約3時間、「第1回いいだzoom歌会」を開催。自由題1首を予め提出してもらい、詠草集を作つて皆さんに送つて、選歌をしてもらう。そのうえで、オンライン歌会を行う。以後、7月まで歌会は10回開かれた。これからも継続する。

時勢柄コロナ禍の歌も多いので、何首か引いておく。

オンライン歌会楽しもまだ逢はぬ人らも貌を並べて話す



「いいだ zoom 歌会」の様子は 2021 年 5 月 23 日付信濃毎日新聞に掲載された

これだなと思った。zoomを習得すれば、オンライン歌会が開けて郷里の人々とも再会し、歌学びの場を取り戻すことが出来るのだと思った、先ずは、zoomを身に付けることにした。本を買って独習。苦労したが、何とか習得した。

スマホでも参加出来ると書く個所をzoom解説本で確かむ

飯田には行けなくなつた我なれど zoom歌会で皆に会えるかも

オンラインzoom歌会は良けれども機器無き人は参加できない

出来る

先ず、「赤石短歌の会」の人等に呼びかけた。パソコンを買い替えたり、機器を購入するなどして参加される

きのふけふ感染者なき長野県しろ抜きされる列島の地図 齊藤淳子

更衣室はおしゃべり禁止水泳帽をかぶりしのちにマスクをはずす

三浦陽子

コロナ禍の肺腑のなかへ送りやる金木犀のしるけき香り

下平曜子

コロナ禍で煙火上がれど見に来るな神輿も出さぬ今年祭り

吉川進久

デパートに行かぬ巣ごもり一年の過ぎて雛の日ダイ

ソーや遊ぶ

佐藤慶子

旨そうにタバコ吸つてるzoomゆえ自室で旨そうにタバコ吸つてる 奥村晃作

「いいだzoom歌会」に参加して

◆吉川進久（高7回）：20数年間奥村先生指導の歌会が、コロナ禍でお終いにと思っていたところ、先生からzoom歌会のお誘いがあり、新しいタイプの歌会として、期待を致しております。

◆中島道遙（高7回）：高校同級の奥村歌人のお誘いもあり、歌才なき身ですが参加させていただきました。後輩の方も、皆さん、いい歌を作られます。◆原伸樹（高32回）：奥村先生の気持ちの若さは、私たちの見本です。前向きな短歌を作り続けたいと思います。◆下平紀代子（高32回）：新しい時代の「座の文芸」がつくられている感じています。コロナ禍の賜物ですね。◆辻元邦宏（高42回）：80代半ばの奥村晃作先生がzoomの操作を習得され、はるか年上の皆さんの行動力にただただ驚いています。